

2026年5月14日  
SCSK株式会社

---

## SCSKのAIネイティブな次世代ERP「PROACTIVE」 建設業向けにJV管理の新機能を追加 ～共同企業体(JV)プロジェクトの資金・原価・損益管理を一元化し、 大規模建設案件の管理高度化を支援～

---

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、AI ネイティブな次世代 ERP「PROACTIVE(プロアクティブ)」の建設業向けソリューションである「PROACTIVE Construction(プロアクティブコンストラクション)」において、大規模工事を複数社で共同受注する際に結成される共同企業体(Joint Venture:JV)の管理業務を効率化する「JV 管理機能」を新たに提供開始しました。本機能により、JV 構成企業の出資比率管理、資金管理、工事原価および売上の配分、構成会社間の精算処理など、JV プロジェクト特有の複雑な管理業務をシステム上で一元管理できるようになります。これにより、建設企業における大規模プロジェクト管理の効率化と財務管理の高度化を実現します。

### 1. 背景

建設業界では大規模な公共工事やインフラ整備事業を中心に、複数企業が協力してプロジェクトを遂行するJV方式が広く採用されています。近年、建設投資の拡大に伴いJV方式によるプロジェクトが増加する中、長年使われてきたJV方式を、デジタルの力でより効率的かつ正確に運用できる仕組みへの見直しが求められています。JV方式では、複数企業が出資し共同で施工を行うことで、大規模案件への対応やリスク分散が可能になる一方で、以下のような業務上の課題が存在します。

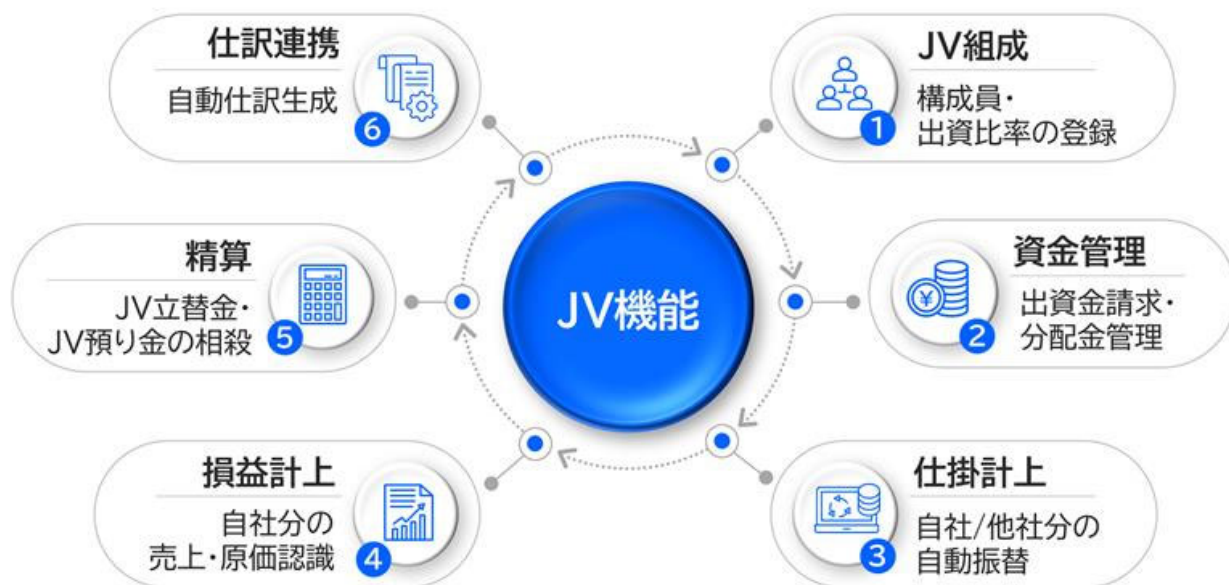
- ・JV構成会社ごとの出資比率に基づく資金管理・損益配分の複雑化
- ・工事原価や売上情報の配分管理の煩雑さ
- ・構成会社間の精算処理の負荷増大
- ・Excelなどによる個別管理による業務負担と管理リスク

こうした課題への対応と、増加するJV案件への対応力強化に向け、JVプロジェクト管理業務を効率化する仕組みの整備が求められています。こうした背景を踏まえSCSKは、建設業向けソリューション「PROACTIVE Construction」において、JVプロジェクトの管理業務を一元化する「JV管理機能」を追加しました。

### 2. PROACTIVE Construction JV 管理機能の概要

「PROACTIVE Construction JV 管理機能」は、JV の組成(各社の役割や出資比率の登録)から、日々の資金・原価・売上管理、構成会社間の最終的な精算処理まで、JV 運営に必要な全プロセスを一元管理する機能です。これにより、JV 案件特有の煩雑な管理業務を効率化するとともに、プロジェクト全体の採算状況をリアルタイムかつ正確に把握することが可能になります。

また、本機能は国土交通省の「共同企業体運用準則」に準拠した会計処理に対応しています。出資比率に基づく「構成会社からの資金の拠出・分配」や、各社間での「JV 立替金・JV 預り金の相殺」といった建設業特有の複雑な精算実務をシステム化することで、業界の商習慣に即した、安心かつ確実な管理環境を提供します。



#### ■特長

##### (1)JV 組成管理(構成員・出資比率管理)

JV 案件ごとに構成企業および出資比率を登録し、JV プロジェクトの管理基盤として一元管理します。出資比率情報を基に、資金管理や損益配分などの各種業務処理を自動化します。

##### (2)JV 資金管理

JV 出資金の入金管理や分配金の管理をシステム上で管理し、資金の流れを可視化します。これにより、プロジェクトの資金管理業務の効率化と管理精度の向上を実現します。

##### (3)JV 工事の仕掛計上管理

発注請求書、経費、労務費、入金実績などの情報を基に、JV 工事に関する仕掛計上を管理します。自社分および他社分の工事原価、入金を適切に管理し、JV プロジェクトの進行状況をタイムリーに把握できます。

##### (4)JV 損益計上・精算管理

工事の進行や完成に応じた売上計上および損益管理を行うとともに、構成会社間の精算処理をシステム上で管理します。これにより、財務情報の透明性と業務効率を向上させます。

### 3. 今後の展開

SCSKは、建設業界における DX 推進を支援するため、「PROACTIVE Construction」の機能拡張を継続して進めていきます。

今回提供を開始した JV 管理機能により、従来対応してきた住宅・リフォーム領域に加え、複数企業が関わる大規模かつ複雑な建設プロジェクトへの対応力を強化します。正確かつタイムリーな財務情報を基に、迅速な経営判断を可能にするとともに、AI を活用した分析により経営層の意思決定を支援し、プロジェクト管理および経営管理の高度化に貢献していきます。

今後も建設業特有の業務プロセスに対応した機能拡張を進め、建設企業の業務効率化と経営基盤の高度化を支援していきます。

## **PROACTIVE Construction について**

PROACTIVE Construction は、SCSK が長年提供してきた PImacs シリーズをリニューアルし、専門工事、住宅、リフォーム、法人向け建設など、建設業の幅広い業務領域に対応する建設業向けソリューションです。これまでSCSKが提供してきた専門工事、住宅、リフォーム向けソリューションのノウハウを基盤に、見積、契約、実行予算、発注、施工、請求、入金、売上計上までの建設プロジェクトの業務プロセスを統合的に管理します。個人住宅向け(BtoC)領域から、法人向け建設(BtoB)領域までを一つのプラットフォームでカバーすることで、建設企業の業務効率化とプロジェクト管理の高度化、さらには経営情報の可視化を実現します。

<https://proactive.jp/offering/industry/construction/>

## **PROACTIVE について**

PROACTIVE は、SCSKグループのさまざまな知財や業務ノウハウを組み合わせ提供するデジタルオフリングサービスです。AI ネイティブな次世代型 ERP を中核におき、会計、人事給与、販売・生産管理まで、各領域の業務課題に解決策を提供する「業務特化型オフリング」と、卸・商社、製造、建設、サービス業向けのベストプラクティスと組み合わせ、各業界が抱える特有の経営課題に対してワンストップで解決策を提供する「業界特化型オフリング」により、「業務効率化・自動化」や「高度な経営判断」を実現します。導入企業数は 7,500 社を超え、多くのお客様にご利用いただいています。

<https://proactive.jp/>

## **SCSKグループ技術戦略**

SCSKグループは、「共創 IT カンパニー」の実現に向けた取り組みを加速するための、技術戦略「技術ビジョン 2030」を推進しています。「技術ビジョン 2030」では、先進デジタル技術の最大活用による事業構造の変革（デジタルシフト）や生成 AI の活用による飛躍的な生産性向上の実現を目指すとともに、蓄積してきた知財を活用した製品・サービス開発を推し進め、お客様や社会、生活におけるさまざまな課題解決に対応していきます。

SCSKグループ技術戦略「技術ビジョン 2030」

[https://www.scsk.jp/sp/technology\\_strategy/index.html](https://www.scsk.jp/sp/technology_strategy/index.html)

## **SCSKグループのマテリアリティ**

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。

社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「豊かな未来社会の創造」「安心・安全な社会の提供」「いきいきと活躍できる社会の実現」に資するものです。

- 管理業務や精算実務の一元化により、プロジェクト管理の高度化および財務管理の透明性向上を実現
- 経営基盤の高度化を通じて、迅速かつ適切な経営判断を可能にし、顧客や社会への新たな価値創出に貢献
- SCSKグループ、経営理念の実践となる 7 つのマテリアリティを策定

<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html>

## 本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

PROACTIVE 事業本部 ビジネスストラテジー&マーケティング部 伊藤

TEL:03-6772-9700

E-mail: [proactive@scsk.jp](mailto:proactive@scsk.jp)

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 竹澤

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。